

## 「切り絵のモデル」

先日100周年記念式典がありましたが、オープニングから始まって、緒方前監督の講演、コンサートと100周年にふさわしい大変豪華な式典でしたね。

私からはその式典で流れたロングフェローの詩の切り絵のモデルを紹介しようと思います。

切り絵のモデルの名前は、登山家・栗城史多さん。彼の人生が今回の詩と大変似ているため、モデルとしました。

簡単な略歴を載せると、

- ・2004年 マッキンリー（標高 6,194m）登頂
- ・2005年 アコンカグア（標高 6,959m）キリマンジャロ（標高 5,895m）登頂
- ・2007年 チョ・オユー（標高 8,201m）登頂
- ・2008年～2017年 標高 7,000m越えの山々に挑戦し続ける。
- ・2018年 8度目のエベレスト登山中に体調を崩し、途中下山中に死去（35歳没）

2018年までテレビや SNS で登山の様子を配信していたので知っている人もいることでしょう。栗城さんは、単独無酸素登頂にこだわっていたそうです。標高 8,000mを越えると酸素が地上の3分の1にまで減るそうで、酸素不足から頭痛や思考力低下などの障害も現れるため過酷な環境で登山していたことになりそうです。さらに2014年には9本の指を凍傷で切断しています。エベレストに挑戦するにあたって、「これでは岩もつかめず、ピッケルも使うのが困難」と指摘もされています。しかし、どんなに打ちのめされようとも、「無謀」だと言われようとも諦めず、前をむいて挑戦し続けた、そんな彼の人生が、詩の青年と重なり詩の世界観とより良く合わさってくれたのだと思っています。

ただ、彼らの諦めることなく挑戦しつづける姿勢は賞賛するに値すると感じていますが、そこに死が隣合うことに関していえば、本当に賞賛されるべきなのかと考えてしまいます。家族や友人のこと、未来のこと、残された人の事を思うと、そんな思いを感じずにはいられません。生きること、生きていく事って大事だよ。

## 週行事予定表

(11/19~12/2)

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
11月	19	金	南生P生徒会交流会(振徳高校)	○	×	8:15 登校
	20	土				
	21	日				
	22	月	期末考査	×	×	8:15 登校
	23	火	勤労感謝の日			8:15 登校
	24	水	期末考査	×	×	8:15 登校
	25	木	期末考査	×	×	8:15 登校
	26	金	期末考査 キャプテン会議・部室一斉清掃	×	×	8:15 登校
	27	土	土曜講座 A 進路ガイダンス（1年） 全統マーク(3年)			8:15 登校
	28	日				
	29	月	全統マーク(3年)	○	○	7:25 登校
	30	火		○	○	7:25 登校
12月	1	水	寺子屋にちなんVI16:00-	○	○	7:25 登校
	2	木	生徒会交流会(※1202) 奉仕活動(24R)	○	○	7:25 登校

※朝課外のある日は7時25分校門通過、朝課外のない日は8時15分校門通過を厳守しましょう